

# 知立市DX推進戦略 (概要版)

## 1 策定趣旨

### 1 これまでの取り組み

2020年に「知立市ICT推進のための基本方針」を、  
2022年に「知立市DX推進指針」を策定し、施策を推進してきました。

### 2 情勢の変化

デジタル庁の創設をきっかけに、日本社会全体のデジタル化が強力に推進されています。また、生成AIをはじめとした新しいデジタル技術は、人々の生活に大きな変化をもたらそうとしています。

### 3 新たな戦略策定へ

これまでの施策を通して得られた成果と生じた課題、国や県の最新動向を整理し、「DX推進戦略」を新たに策定します。

## 2 戦略の位置づけ

### デジタル関連 施策の柱 としての位置づけ

第7次知立市総合計画に掲げる都市像の実現に向けて、これまでの基本方針や指針を発展的に統合し、今後市が実施するデジタル関連施策の柱とします。

### 官民データ活用 推進基本計画 としての位置づけ

この戦略は、官民データ活用推進基本法に規定する「市町村官民データ活用推進基本計画」を兼ねるものとし、国の重点政策と連動して施策を推進します。

### 実施期間および 見直しについて

この戦略は2025年度から2029年度までの5年間を  
実施期間とし、デジタル技術の進展や全国の動向を踏まえ、  
随時見直しや変更を行います。

### 3 国や県の動向について



#### 国の方針

「デジタル社会の実現に向けた重点計画」を公表し、デジタル化による住民の利便性向上やコスト削減を進める一方、デジタル技術に不慣れな方へのサポートにより、誰もがデジタル化の恩恵を受けられる社会の実現を目指としています。



#### 県の方針

「あいちDX推進プラン2025」を策定し、クラウド活用や標準化によって、県行政のデジタル化を目指すとともに、デジタル格差解消により、デジタル化の恩恵を全ての住民が得られるようにしています。

### 4 知立市のこれまでの経緯について

#### ICT推進基本方針の策定と組織改編

知立市は2020年に「ICT推進のための基本方針」を策定し、2021年に組織改編を行い、強力的にDX推進を図ることとしました。

#### DX推進指針の導入

市が所管している行政手続について棚卸しを実施し、行政手続オンライン化に特化した、「DX推進指針」を策定しました。また、各課に推進担当者を任命して、課題解決をさらに進めました。

#### 効果的なツールの導入やインフラ整備

2021年からはノーコード・ローコードツールを導入し、様々な業務において効率化を実現しました。また、ネットワークの無線化によりペーパーレス化を進めました。

### 5 知立市の抱える課題について

#### 1 人口減少と少子高齢化

知立市の人口は2030年までは増加を続けると見込まれます。また高齢化や少子化も進行していくものの、全国と比較してそのスピードは緩やかです。この状況を活かして、今の段階から「誰もが便利と感じるデジタル社会」を作る準備を進める必要があります。

#### 2 これまでの取り組みにおける課題整理

実証実験は行われていますが、実装に至らないことが多くあり、実装に向けた体制や予算の検討が課題です。この課題の解決には、今まで以上に組織全体でのDX推進を図る体制強化が必要です。

#### 3 業務変革の必要性

業務の流れや現在の課題を整理し、必要に応じて業務変革を行った上でシステム導入を進める必要があります。その際には、利用者と職員双方のニーズに応じたアプローチが必要です。

### 6 知立市をとりまく状況の変化について

#### ● クラウドサービスの拡大

クラウドコンピューティングサービスの普及により、システム導入時の初期コスト削減や、アクセス量の増減に合わせた柔軟な運用が可能となります。また、災害時の業務継続性やセキュリティ対策の高度化にも貢献します。

#### ● 生成AIの台頭

生成AIの安全な利用にはいくつか課題もありますが、これまで効率化が困難とされてきた分野でも、大きく効率化を進められる可能性があります。

#### ● この変化を踏まえて

これからの業務システムは真に必要な機能を必要な量だけ利用する方式へ転換するとともに、新しい技術を積極的に取り入れることが重要です。

## 7 知立市のこれからの戦略について(1/6)



**基本理念：「一人ひとりにフィットする市役所」**

「いつでもどこでも手続きがしたい」と「オンラインでの手続きは不安だから対面に対応してほしい」を両立するとともに、市民、事業者、職員一人ひとりにフィットした行政サービスを実現します。

### 7 知立市のこれからの戦略について(2/6)



#### 実行力強化

これまでの推進体制を改編するとともに、組織全体で推進するための仕組みを構築します。  
また、複数部署にまたがる政策課題に対応するため、プロジェクトチームを素早く設置できるようにします。

### 7 知立市のこれからの戦略について(3/6)

#### オンライン ワンストップ窓口

様々なツールを組み合わせ、申請・届出開始から手続完了までを全てオンラインで完結できる仕組みを構築します。それと同時に、人の手を介さずシステム処理で完結できるようフローを整理します。

#### やさしい窓口

オンラインでの手続に不安があり、対面での相談を希望する市民向けに、対面に対応する専門窓口を設置します。相談内容はデータベース化し、各課とのスムーズな連携につなげます。

#### 利用者目線の 情報発信

利用者が知りたい情報にすぐアクセスできるように、頻繁にアクセスされるページのランキング化や、キーワード検索との連携、情報集約といった対策を実施します。

### 7 知立市のこれからの戦略について(4/6)

#### 職員における 多様な働き方の 実現

安全な環境であることを前提として、働く場所がどこであっても、業務に必要な作業ができるような環境整備を行います。

#### デジタル人材の 育成

業務変革に関する手法やデジタル技術の知識を習得し、チームとして連携しながら、自らの手で変革できる職員の育成を図ります。

### 7 知立市のこれからの戦略について(5/6)

#### 課題整理の徹底

システム導入前に現状の業務フローや課題を徹底的に整理し、業務手順のシンプル化を図ることで導入後の効果を最大化します。

#### 利用者目線の デザイン

全ての利用者にとって簡単で、直感的な操作が可能で、分かりやすいデザインにします。

#### クラウドサービス 活用

業務やシステムの性質に合わせて、支障がない範囲で、クラウド関連サービスを積極的に活用します。

## 7 知立市のこれからの戦略について(6/6)

### スマホ活用 講習会の拡大

現在の講習会から内容を拡大し、オンラインでの手続に関するサポートを充実させることにより、オンライン形式への不安を解消します。